

ヤマハニュース6

YAMAHA NEWS NO.348 1992

特集●町にこだますVツインサウンド—2

SRV250に熱い視線

TOPICS IN COLOR●平忠彦ラストラン—17

あたたかい声援ありがとう

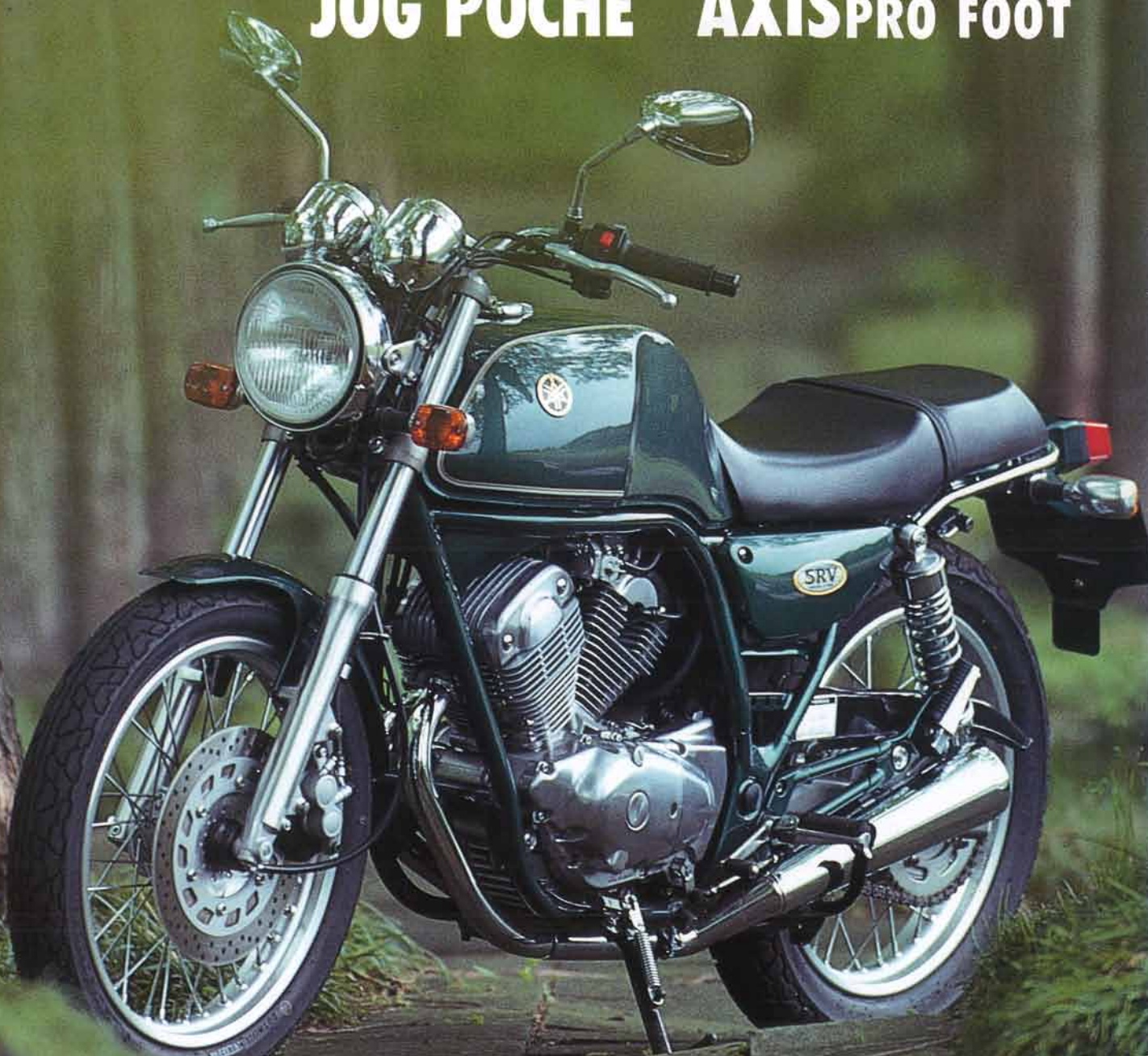
NEW MODEL●生活のお役に立ちますヤマハスクーター—19

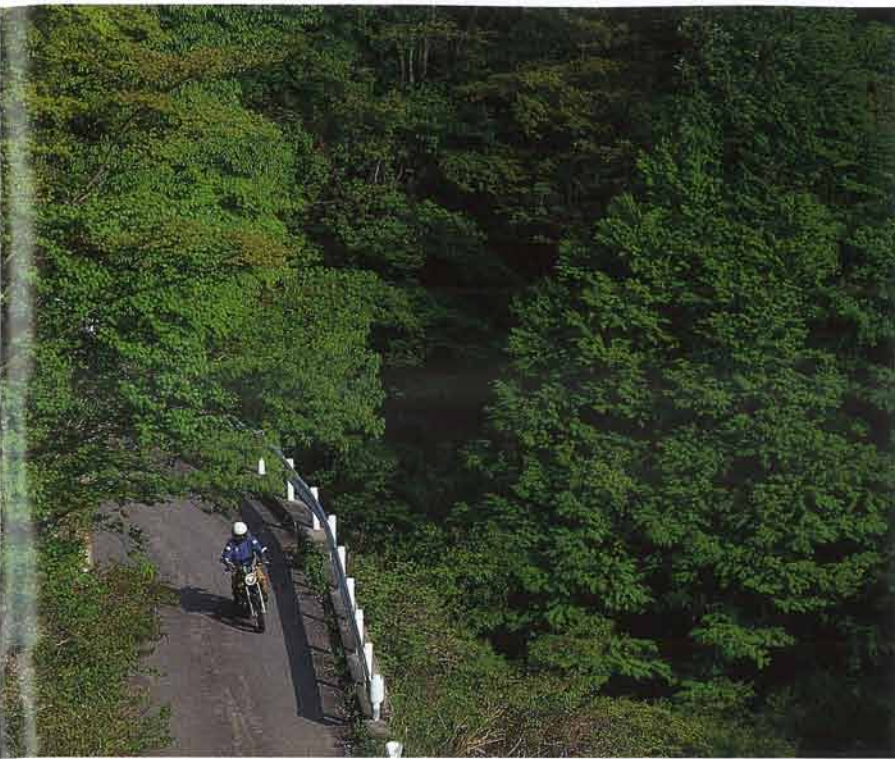
買い物スペシャル「ジョグポシェ」

通勤スペシャル「プロフット」

JOG POCHE

AXIS PRO FOOT





熱い視線

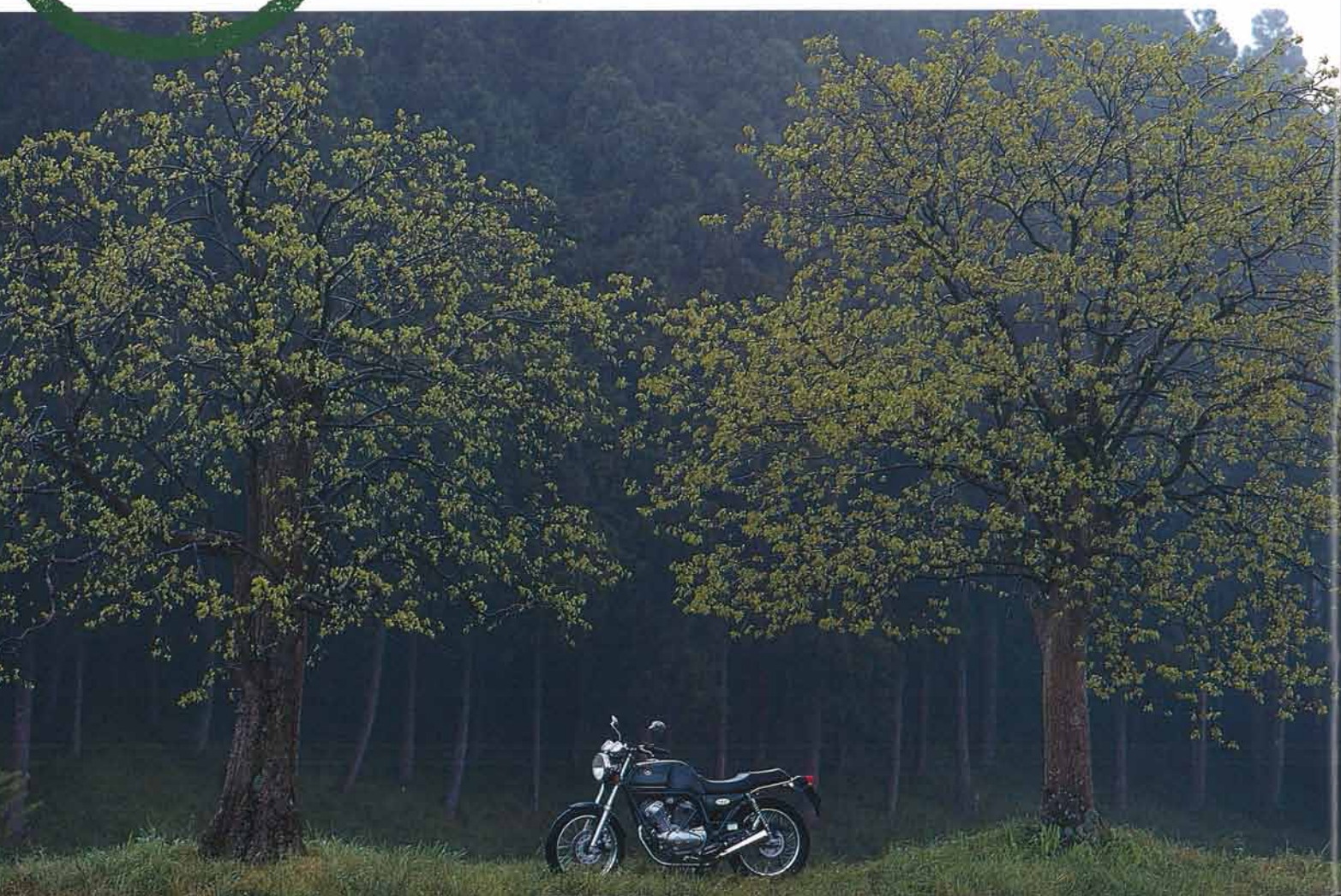
SRV250が走っています。Vツインサウンドをこだませて走っています。街並みの風景にとけ込んで、田園の爽やかな風に乗ってSRVはいま熱い視線をあびています。いかがですか？ SRV250導入“開幕ダッシュ”快調のことと思います。

今号は店頭活動へのバックアップ特集として、3人のモーターサイクルジャーナリストの方々にSRV250の魅力を、また市場検証としてホッカほかのSRVオーナーの声、そして拡販最前線、販売店さんの取り組みをレポートします。店頭活動パワーアップのご参考にどうぞ!!





SRV250に



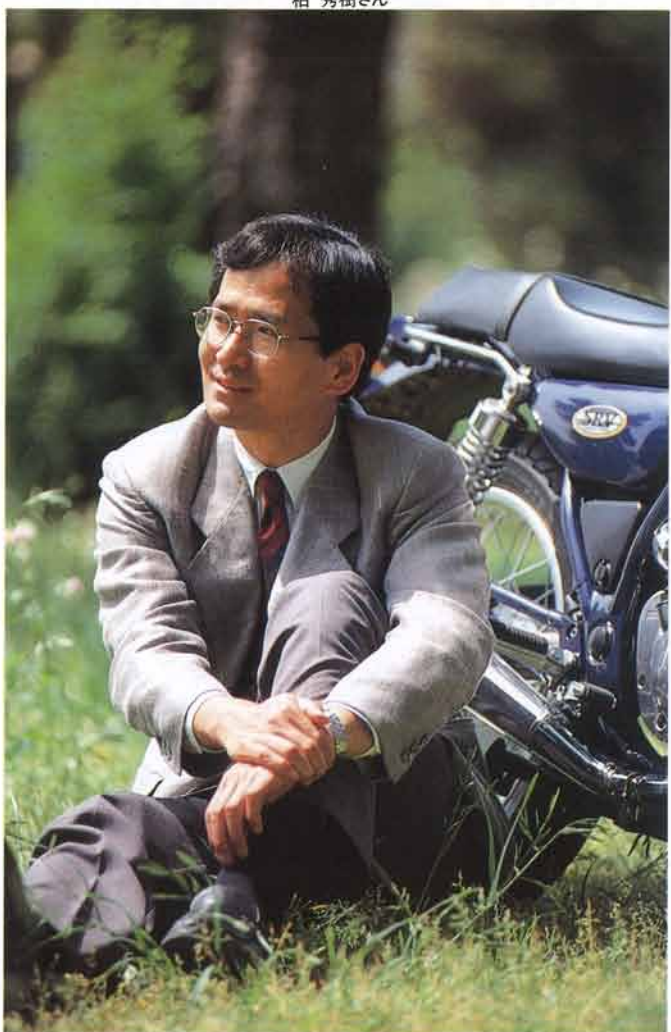
バイクジャーナリスト
からのSRV
メッセージ



近田 茂さん

根本 健さん

柏 秀樹さん



自分が本当に作りたいものを作った 開発者の情熱、思い入れがよくわかる

文

句のつけようがない、すばらしくよくできたバイクだね。
開発者の人たちが、本当に作りたかったものを作ろうとしてこだわり抜いた情熱が、見事に集約されている。

これまで、ヤマハならではの世界を築き上げてきたDTなど一連のトレールモデル、スピードに頼らないゆったりとした味わいのある「スベシャルシリーズ」、あるいはSR、SRX、初代TZR250といった名車たちは、ほとんど例外なくこうしたオリジナリティの高いモノづくりの姿勢から生まれているでしょう。その意味で、SRV250も私はヤマハならではの1台だと思えます。

特徴はいろいろあるけれど、まず重要なのは「Vツイン」エンジンを選んだこと。ご存じのように、ベースはXV250ピラーゴに使われているものですが、もともと250とは思えないほどトルクフルで扱いやすい、優れたエンジンなんです。

Vツインエンジンっていうのは、基本的に中・低速域のレスポンスがよく、アクセルをひねればドンッと出ていく力強さが魅力。独特の鼓動や振動も、味として好まれますよね。

これは4気筒や2ストロークにないよさであって、高回転まで回してパワーを出す限界性能はともかく、公道の常用域ではパワー、レスポンスともにVツインが上でしょう。

しかも、エンジンの横幅は単気筒よりコンロッド一本分多いだけの軽量・スリム。その分、車体のロールが軽くなり、コーナリングの倒し込みもラクだという

公道スポーツ車にジャストフィットする Vツインの魅力をみごとに引き出した

メリットも考えれば、本来すぐくスポーツ向きのエンジンなんです。

むしろ、今の道路事情などを考えれば、Vツインこそロードスポーツにジャストフィットすると思います。

このことは、まだ一般に認識されていないけれど、SRVはVツインスポーツのおもしろさを知る最高の教材とも言えますね。

SRVの場合、ピラーゴよりもスポーツ性を高めるため、中・低速のトルク感やレスポンスのよさを残しながら、高回転までよく伸びるよう設定されていて、そのバランスというか、味つけの仕方が実に絶妙。

Vツインの特性が明確に出にくい小排気量の250ccで、よくこれだけVツインらしさとスポーツ性を両立させたなど感心してしまう。工夫の勝利ですね。

車体などの作り込みにしても、すべてはこのエンジンを100%生かすことを最優先しています。

例えば、公道で気持ちよくスポーツテイな走りを楽しめるハンドリング、Vツインの鼓動や振動を伝えるエンジンマウント方式、歯切れのいい排気音といったところに、努力の成果がよく出ていますよ。

そして、これだけ思い入れを込めて作ったバイクだから、大切に長く乗ってほしいという開発者の願いが、ポルト一本まで防錆処理を施したり、塗装やメッキ処理の工夫など仕上げの美しさ、丁寧さに表われている。

こういうモノづくりが、私は本来のヤマハラしさだと思いますし、「よくぞ出してきた! SRV」と言いたいですね。



Vツイン・スポーツに共感! ヤマハらしい作り込みだ

根本 健さん

「ライダーズクラブ」編集長

風が気持ちいい速度域でこそ最高に楽しい1台

モーターサイクルジャーナリスト

近田 茂さん

一番印象的だったのは、ハンドリングの味つけですね。あくまで軽快で気楽に扱えるすなおさがある。しかもしっとり落ち着きのあるフィーリング。これは、デバイジョンにも似た傾向があります。

例えばTZRやFZRのように、サーキット走行などハイスピードが可能な場所です。速く走ることより、一般市街地で快適に走ることを大切にされた結果でいうね。

タイヤ選択ひとつをとっても、はやりのはずと小径17インチタイヤにしないで、あえて細目の18インチを選んでいきます。

見た目のデザインだけで考えれば、マインスパイントととらえられがちですが、乗りやすさ、操縦しやすさを優先させたからこうなったわけです。

過剰な体重移動とかハンドル操作がいらす、ごく自然に倒し込めばすなおに曲がっていく。ふつうの道をふつうに走れることが実に気持ちよく快適なんですね。とりたてて攻めた走りではないのに、十分スポーツライクに楽しめる。

ふつうの道で、ふつうに走るのが快適だ。だっていう点については、エンジンもそう。ロングストローク・Vツインのロードスポーツ車という新しいカテゴリを拓いただけでなく、単気筒や4気筒と

ハンドリング、エンジン特性はすべて一般道路の走りを最優先させて成功

は違うVツインならではの、低速域の味と、高回転までストレスなく回るスポーティな速さを兼ね備えています。

ポクが予想していたのは、もう少し低速域での「太さ」を感じられるものですが、オーソゴナルマウントというエンジンマウント方式のおかげか、振動も適度に抑えられていて、むしろその分スムーズなスポーツ性が増えますね。

こういうエンジンとハンドリングのマッチングが、お互いによさを引き立てあっていると感じました。

今、いろいろなタイプのバイクが発売されているなかで、風を気持ちいいと感じる速度域ならSRV250は非常によかったですね。

だから、レーサーレプリカなどと同じような尺度でSRVをはかるのは大きな間違い。カタログに書かれた数値的なデータではわからない優れた性能を持つ価値あるバイクだし、第一、めざすところが違うでしょう。

じゃあ、若い人よりベテランの、例えばターナー層や年配者向きか、というところを決してそうじゃない。大学生や高校生みたくに市街地でよく使う若い人たちにこそ魅力的なバイクなので、こだわらずに幅広くアピールできるんじゃないですか。

若い人たちにも味わってほしい傑作Vツイン・ロードスポーツだ!

快感性能だけでなく 実用性能も十分 おもしろさと速さを備えた欲ばりバイク

SRVは、乗り味がとても軽快でしなやかなバイクなんですよ。

ハンドリングは、弱アンダー気味に設定されている。例えばコーナリングのきつかけだけちょっと与えてやれば勝手にバイクが曲がってくれるようなものでなく、ライダーがバンク角を決めてやって初めて思いどおりのコーナリングができるようになってる。

ほどほどの緊張感が必要だけれど、それがバイクを『操る楽しさ』でしょう。といって、ハンドルをこじるという意味ではないですよ。すなおなリーンインウィズで、スピードとコーナリーの半径に合わせて倒し込んでやればいい。そうすれば、ごく自然な感じで曲がっていくんです。

これは、250ccのVツインエンジンからくる軽量・コンパクトな車体、そのパワーに合わせた高剛性過ぎないフレーム、そして大径18インチタイヤが絶妙なバランスでマッチングしているからこそ生み出せる特性だといえます。

これって400ccや750ccでは作れない、250ccならではの味じゃないかな。そしてエンジンは、Vツインらしく中・低速域が気持ちいい、ハリのある鼓動感と、スポーティでフレキシブルな伸びのよさを兼ね備えている。

絶対的なパワーで勝負するのではなくエンジンのおいしい回転域と、優れたハンドリング特性で快適にキビキビした走りを楽しめる、ライトウェイトスポーツなんですね。

こう言うと、快感性能が先行したバイ

スポーツバイクの入門クラスであり終着点 250クラスこそ『本物』が必要

クのように思われるかもしれませんが決してそれだけじゃないんですよ。

実はSRVは、市街地やワインディングで使えるパワーなりコーナリング性能がきわめて高いんです。意識せずに楽しく走れてしまう。快速・快感マシンなんです。コレが！

特にエンジンの扱いやすさ、路面情報のつかみやすさが優れている。だから、レーサーレブリカなどよりも、一般公道では速いかもしれない。

考えてみると、けっこう欲ばりなんです。ゆっくりでも飛ばしても、いろいろなシチュエーションに合わせて走りを楽しめちゃう。SRVって、それが一番の魅力じゃないかな。

本来、250ccクラスは、スポーツバイクに初めて接するクラスだし、ベテランの人がクルマと平行でバイクを楽しんだり、あるいは一度やめた人が戻って来やすいところという意味で、終着点でもあるわけ。だからこそ、懐ろの広い楽しみ方ができる『本物』のバイクを用意しなきゃいけないと思う。

セローみたいなバイクが、ロードモデルでもほしかった。SRVは、まさしくそういう一台なんだよね。

錆止め処理や入念な塗装、磨きがいのある仕上げのよさを含めて、感性度の高いバイクだから、幅広い層の人たちに大いに満足してもらえと思っています。

軽快に俊敏に、操る楽しさ満点のライトウェイトスポーツ!

モーターサイクルジャーナリスト

柏 秀樹 さん

待ってました!! ホッカホカお客様 レポート

片桐孝明さん(26歳・東京都板橋区・会社員・バイク歴9年)

正統派のスタイリングに 新鮮な驚きを感じています

ク

ルマでも洋服でもそうだと思うんですが、すれ違った人に振り返られる存在感を持ったものって、そう多くはないですね。逆に言うと、何を見ても新鮮な驚きを感じない時代というか……。

僕が初めてSRV250に出会ったのは、会社帰りのお店の前。いつもの道を帰っている途中で、シールド越しにSRV250が目に入ったんです。最初はシングルかと思ったんですが、その時の印象は強烈でしたね。自分のものになった今でも、会社の前に停まっているSRVを見て、うっとりしちゃうことがあるんです。親バカでも何でもなくて、感覚的に僕の感性に合っているんですね。

一番好きのところですか? ……やっぱりスタイリングですね。タンクの形状や正統派のVツインエンジン、シートの曲線にも感じるものがあります。走りだって軽快だし、それまで乗っていたFZR250Rより通勤も断然ラクです。



窪田康浩さん(28歳・千葉県流山市・理容師・バイク歴12年)

デザイン、性能、文句なし 大成功の衝動買い

行

きつけのお店に何気なく立ち寄ったときに、試乗車が店の前に置いてあったんです。それまでは特に興味があつたわけじゃないんですけど、SRVに。綺麗なバイクだと思いがら店に入ったら、社長に試乗をすすめられました。ほんとに試乗のつもりで走ったら、これがすごく乗りやすい。デザインも落ち着いていて、もうその場で「ご成約」です(笑)。

片道50km、都内の理容店までの通勤に毎日使ってますが、下取りに出したZZR125よりも体の疲れが少なく、楽しいですね。シフトに気を使わないだけのトルクもあるし、取りまわしも楽。定期代の1/2という燃費の良さも有難いですね。

店の前に置いておくと「デザインがいい」とお客さんから羨められたり。ちょっといい気分です。仕上げもいいのでわずかな汚れでもつい気になって磨いてしまったりと(笑)。衝動的な買い物でしたけど、今は全てが気に入っているんです。

森氏俊治さん(27歳・大阪府堺市・営業マン・バイク歴11年)

見て、乗って、降りても楽しめるSRVが バイクライフの新しい扉を開けてくれました

店のポスターを見て、まずビビッときました。「きれいなバイクやなあ」ってね。これがSRVとの最初の出会いでしたわ。

お

今まで乗り継いできたバイクは全部2サイクルばかりだったんです。2サイクルは楽しいけど、日常の生活に合うてないでしょ。僕も20代後半なもので、長いこと乗れる質感の高いバイクを探していたんです。

SRVには冷却フィン一枚一枚やメッキ部分、スタイリング、そして音、もうぞっこんです。作りたい人が存分に作り込んだというのが伝わってきますね。僕はとにかく磨きまくるほうやけど、磨き甲斐のあるバイクです。乗って楽しんで、降りても楽しみがあるSRVとは長く付き合えそうな気がします。

中村順哉さん(23歳・神奈川県厚木市・会社員・バイク歴5年)

バイクも見かけによらぬもの 軽快な走りがお気に入り

斜

め後ろ、ちょっとかがんだ姿勢から眺めたときの美しさはなんとも言えない。タンクからシートにかけてのポリウム感もある。そのくせ前から見たりまたがってみると、とてもスリムなんです。不思議なデザインです。よね。

スタイルが気に入って購入したんですけど、今はその走りに満足しています。雑誌でよく走る、と書かれていますけど、本当なんです。落ち着いたデザインからは想像できない軽快さです。

今まではずっとオフロード車に乗っていたんです。街中でも細いワイディングでもオフロードバイクの方が速く安全に走れると思ってましたけど、SRVの方が上手のようです。すつとまがるし、加速、減速も僕のレベルにはちょうどいい。それに安定感もあるので落ち着いて走れるんですよ。オフも好きなので2台を使い分けるつもりですが、SRVの出番の方が多いんじゃないかな。

尾形学さん(19歳・大阪府南河内郡・専門学校生・バイク歴2年半)

自分の波長に合った優しいバイク それがSRVです

車は発売開始当日だったんです。以来、通学とツーリングに大活躍していますよ、SRVは。もうすぐ慣らしも終わります。

納

ゴールデンウィークに愛知の友達を訪ねて1泊のツーリングに行ってきたんですが、これが疲れないんです。低中速トルクがあつて走りやすいですよ、おまけに音も気持ちいい。バイクにせがまれます。自分の波長に合った走りができるのがとくに気に入っていますね。

今、友達の間ではちょっとしたスターですよ。いや、僕ではなくてSRVが。「よう見せてみて」とか「ちょっとエンジンかけて」とか。なかには「乗せてくれへん？」なんて友達もいますけど、こればかりは応じません。もう絶対に。僕の大事なSRVですから。



SRV250 店頭活動 レポート



あらゆる状況を試走した澤田社長。人目に触れさせるためどこへ行くにもSRVに乗る

ライブ感たっぷりのセールストークでSRVファンをつくる

YOU SHOPアイドル

千葉県柏市/澤田正美社長

SRV250を“武器”に 新たな客層開拓作戦を展開中!!

乗って確かめたセールストークで幅広いユーザー層にアタック

『YOU SHOPアイドル』さんといえ、ミニバイクレースの印象が強いお店、アイドル杯の冠がついたYESのミニバイクレースを年間5戦の他、サマーフェスティバルや店独自で主催する8時間耐久レースなど積極的に展開している。

当然、客層もレース指向、レブリカ指向の20代の社会人が多くなる。

「といっても、ウチの場合、ピラーゴやSRXのお客さんも多く、ユーザーの年齢の幅は、意外に広いですよ」と話すのは澤田正美社長。ミニバイクレースにかくれがちではあるが、月1回のペースで続けているツーリングの成果だという。そしてその澤田社長が今一番気に入っているのがSRV250だ。

東京モーターショーで発表されて以来首を長くして待っていたというとおり、お店に届いたその日に、社長個人の名義で登録を済ませ、その日のうちに、社長

を含めたお店のスタッフが試乗を済ませている。

販売店さんを対象とした試乗会にもそのSRV250で現地にかけてきたほどの入れ込みよう。一般道や街中、高速道路、渋滞路、そしてタンデムランなど、あらゆる状況下を、お客さまに試乗させる前に走り込み、セールストークをつかんだ。

「ひと言でいうと、これほど楽なバイクはない、ですね。うちのスタッフもやはり同じ感想を持っています。ただし、この『楽』は『楽しいラク』なんです。ポジションだけが、例えばハンドルがレブリカより高くてラクなのでなく、余計なことに気を使わずにライディングを味わえるラクさなんです。通勤通学、ツーリング。ほとんどの用途をカバーできる性能を持つてますね。このスタイルからは、悪いけど想像はできない走りですよ(笑)」

この自らが走って体感した『セールストーク』を、お客さまが試乗する前にちょっと耳打ちしてあげる。何分後かに帰

スタッフ全員が試乗してSRV250のセールストークをつかんでいる





つてくると、誰もがこのSRV250の良さを理解してくれるという。TZR125からSRV250に買い替えた男性客は、試乗したその日に成約した。澤田社長のセールストークと、それをふまえての試乗がどれほど効果的なのかわかるというものだ。

あらゆるジャンル 幅広い年齢層がターゲット

「YOU SHOPアイドル」さんのショールームには、SRV250の店飾ツールが置かれてはいるものの、そこにはTZR250が展示されている。SRV250は店頭が一番前。人目によくつき、しかし通行の妨げにならない場所に置いてある。飾りつけも大切だが、なによりもまずいろんな人に見てもらおう方を先決と考えているからだ。

「30代ぐらいの男性がね、なんだコレ？ って感じてのぞいてるんですよ。このスタイルなら、落ち着いたアダルト層にもうけるでしょうね。店内に置くと、この手の人達の目には触れないんですよ」

落ち着いた雰囲気のあるSRV250を、この層にすすめるのはもちろんだがしかし、澤田社長は敢えてターゲットを絞らず、あらゆる層のライダーに乗ってもらおうと考えている。

「乗りやすさからいえば、初心者や女性にも安心してすすめられるし、軽二輪の経済性を打ち出し、家庭のためにバイクを一時手離したお父さんライダーにも向いているでしょう」

ショップの中心であるミニバイクレースのユーザーやレプリカ派にもすすめたいという。とくに街中でしか乗らないユーザーなどは、保険切れなどを機にバイ

クから離れがちになるのを、このSRV250で引き止め、息の長いバイクファンに育てることも可能だという。走って楽しいバイクだからこそ、レプリカファンにもすすめることができるわけだ。

「幸いうちのユーザーは、ミニバイクファンからアダルト層まで幅広いですから代替えを中心に、ゆつくりと拡販したいですね。ミニバイクのときもそうでしたが、まず自分が乗って少しづつファンを増やしていく。ツーリングなどに持ち込んで、ワインディングなどでちょっとでも乗せてあげれば、どんなジャンルのどんな年齢層のライダーでも、SRVの良さは理解できます。それほどよく出来たバイクです」

「初心者からベテランまでの幅広いユーザー層に、安心して、そして自信を持って勧められる。澤田社長はとても意欲的にSRV250をアピールしている。

YOU SHOP アイドル

千葉県柏市西原6-8-25



●立地
大宮、柏、船橋を結ぶ東武野田線、初石駅から徒歩10分。常盤自動車道柏ICからは車で10分ほどの住宅地。近くには住宅団地や工業団地がある

●商圏
スクーターは店を中心に半径数キロ、スポーツはロコミにより県外からの客も多い

●客層
ミニバイクレース色が強いが、20代の社会人が中心だが、スポーツ層は10代から40代と幅が広い

お客さまの第一印象を セールストークに利用する

「SRVは全体のフォルムと細部の仕上げが丁寧できれいだと評判ですよ。とくに美しさに関しては実車を見るお客さまのほとんどが口にします。なかには、乗らなくても、置いておくだけでいいんじゃないか?なんて方もいますね。開口一番お客さまのSRV評をこうお話しくださったのは、『YSP大阪狭山』の中村社長だ。

決して派手ではない。しかし、情感の漂うしっとりしたたずまいは誰もが美しいと感じるし、お客さまの第一印象もまずほとんどがその美しさに集中する。「実車を見せて、頃合をみはからつてから、塗装やメッキパーツの話をします。美しいと感じるのはなぜか、お客さまの第一印象を導入にしてセールストークにつなげるんです。なるほど、と話に乗ってくれますよ」

『YSP大阪狭山』さんは4月の発売以来、半月あまりで2台を納車。さらに3台のバックオーダーを抱えている。

とはいえ、このお店がSRVのようなスタンダードバイクをメインカラーとしたショップかというそうではない。店を訪れるお客さまにはスーパースポーツに乗る方もいれば、オフロードバイクに乗っている方もいる。好調な数字には秘密があるのだろうか。

「ウチは昭和62年の9月にオープンしたんです。今まで発掘した顧客は新規のユーザーばかり。ところがそろそろお客さまも定着して、代替えの時期にさしかかってきたことが理由のひとつなんです」
加えて、『YSP大阪狭山』さんの中心顧客層は20歳前後から30代と、年齢層はや

想像力をセールストークに応用してお客さまの心をつかむ

YSP大阪狭山 大阪府大阪狭山市/中村幸広社長



見せて、聞かせて、体感させる 五感にわたってSRVの魅力をアピール



「SRVは所有することに優越感を持てるバイク。セールストークでのアピールポイントだよ」と中村社長。笑いの中にも販売への自信がにじみ出る

や高い。しかもその中で社会人が占める割合が大きいことも特徴だ。そんなお客さまの傾向も、SRV拡販には好都合。ツーリングを楽しんだり通勤・通学に利用する方が多かった。

「SRV発売を迎えて、まずVOISから顧客データを引き出しました。その中からSRVに反応しそうな年齢層や趣味嗜好のグループをピックアップしましてね、とくに代替えのユーザーを中心に展示予約会のダイレクトメールを送ったんです」

4月15日、16日と2日間にわたって開かれた展示予約会は平日ながら多くのお客さまが来場した。反響は上々、カタログの請求も多数あつてうれしい悲鳴だったという。

展示会では細部の機構説明はもちろんながら、お客さまがSRVを見てどう使おうかというイメージをを広げる作業のお手伝いをした。

「前を見つめて走るバイクもいいけど、風景を楽しみながら走るのもいいものだよ、と。季節ならいつがいいか、どこを走ったら似合うか、想像がどんどん広がっていくバイクですから、SRVは」

「所有して優越感を持てるバイク」これが中村社長のSRV評である。この言葉には性能一辺倒ではなく、たまたま、そして走らせて開ける独自のSRVワールドが表現されている。

見せて、メッキパーツやエンジンフィンの一枚一枚に触れてもらう。さらに跨がって取り回しの軽さも体験してもらう。「質感の高さ、V型エンジンの迫力にお客さまは驚きます。そしてエンジンをかけてあげる。250ccという排気量ながら、重厚な排気量にみなさんびっくりしますね」

速さだけでは語れない、SRVの世界。中村社長はお客さまの五感を総動員してSRVの魅力を訴えるのである。

バイク経歴によってさまざまにアピール

中村社長によると、これまでのお客さまの反応では25歳前後、そして40代以降の方が興味を示すという。反応の中心は「低速トルクが溢れているツーリングに使いやすい、車体が軽くて取り回しが楽だ」というもの。この評価は4気筒のスポーツに乗っていたお客さまに多い。

一方、昔の単車に乗っていた方からはある種のノスタルジーをもって迎えられているという。「ヤマハらしい単車」この言葉をよく耳にするそうだ。

「ウチの店には来たことがない、未開拓の顧客層というのがあります。そういう方にこそSRVを見てほしい。そのためSRVの納車するとき、クルマの荷台にバイクを積んで、わざと街の渋滞のなかを走らんです。運転席のドライバー、歩行者が「オッ、何だあの単車は」っていう顔をしますよ。トラックにはウチのお店の名前も入っていますし、いい宣伝になっているんじゃないかな」

ユーザー内部と同時に、外部の潜在ユーザーに向けて発信するSRVの魅力。スタンダードフォルムのSRVだからこそ、中村さんは「こういうバイク」と無理に着色しない。ユーザー層も限定しないのだ。さまざまにイメージに込められるバイクだからこそ、ユーザー像、ユースをひとつに絞らない。ショップの販売店開によって、SRVの魅力は七色にも光を放つのではないだろうか。



「メッキの艶やかさ、マフラーの取りまわしが美しい」「V型エンジンの重厚感が個性的」とSRVの魅力にぞっこんのお客さま。



YSP大阪狭山 大阪府大阪狭山市東葉莫木4-2115-1

●立地

大阪市、堺市に通じるニュータウンとして開発著しい大阪狭山市の国道310号線沿線に立地。大阪の中心、なんばを起点とする南海高野線でおよそ40分ほどの住宅・商業区にある

●商圏

国道310号線沿線を中心に、大阪狭山市内から堺市を含む半径10kmほど。中には和歌山県から

足を伸ばすお客さまもいる

●客層

20歳前後から30代の社会人が中心。なかでも公務員の占める割合が高いのが特徴

●告知活動

平均して月2回ほど送付するDMは600~800枚。折り込みチラシはおもにスポーツユーザー向けに月1回



アイデア拝見 Pint & Hint

AV オーディオ・ビジュアル

近年の店舗演出に不可欠な要素となっているビデオモニター。今回は、AV時代に先駆けるビデオの活用について探ってみました。

今月の達人

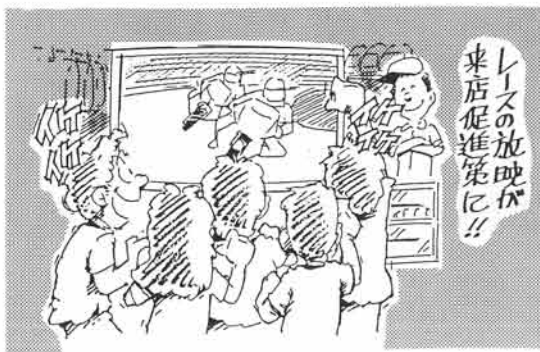
YSP福生東(東京都福生市)
高橋 弘 社長(53歳)

レースの生放映が 来店のキッカケづくりに

お客さま接客コーナーの3種の神器といえは、二輪専門誌とコーヒーメーカー、そしてビデオモニターと相場が決まっています。特にこのAV時代、ビデオモニターについては、ほとんどのお店が設置されているのではないのでしょうか。

今回お訪ねした「YSP福生東」さんも、10年前にビデオデッキを導入。大画面時代に対応して、3年前には33インチの大型テレビを設置したお店です。「大きなテレビを入れたのはね、'90年の鈴鹿8時間耐久レースがキッカケです。お客さんを集めて、みんなまでテレビ観戦しようということになりました……。あの年は平選手が優勝したのも手伝って、入れ替わり立ち替わり30人以上のお客さんが来てくれました」と高橋弘社長。

「いまでも全日本選手権の開催週には、WOW WOWの放送を観るために、レースファンのお客さんが集まってきます。もちろんすべてのレースを録画していますから、会社や学校の帰りに立ち寄って観て行く方も多いですね」





こうしたお客さまへのサービス活動が口々に広まり、いまでは、あの店に行けばレースが観れる」という情報は、付近のレースファンの常識。ビデオの導入が直接、来店促進につながっている例です。

「ビデオのいいところは、ひとりでも来たお客さんでも時間を潰せることです。知らない者同士でワイワイ観てる方もいますし、何よりも人手の足りない中で、お客さんの対応に時間を取れないのは大きいです」

普及・営業活動にも活躍!! 広がるビデオの使用法

ビデオの活動の場面は、なにもお客さまへのサービスだけではありません。「YSP福生東」さんでは、普及、そして、営業活動にもビデオを活用しています。

「ヤマハテクニカルセンター制作の限定解除マニュアルなんか、お客さんに凄く人気ありますね。あのソフトを観て、よし俺も!!」と思ったお客さんもあるはずですよ」

「それと、SRV250をはじめとするビデオカタログですが、印刷物では表現できない部分もフォーロウされていて、これからの主流になると思います。たとえば走っている姿やカラーリング、排気音なんかは、映像ならではのものですからね」

実際、同店のSRV250成約第1号のお客さまは、ビデオカタログを観

ながらの商談だったそうです。動く映像は、写真以上にお客さまの想像を広げるのでしよう。

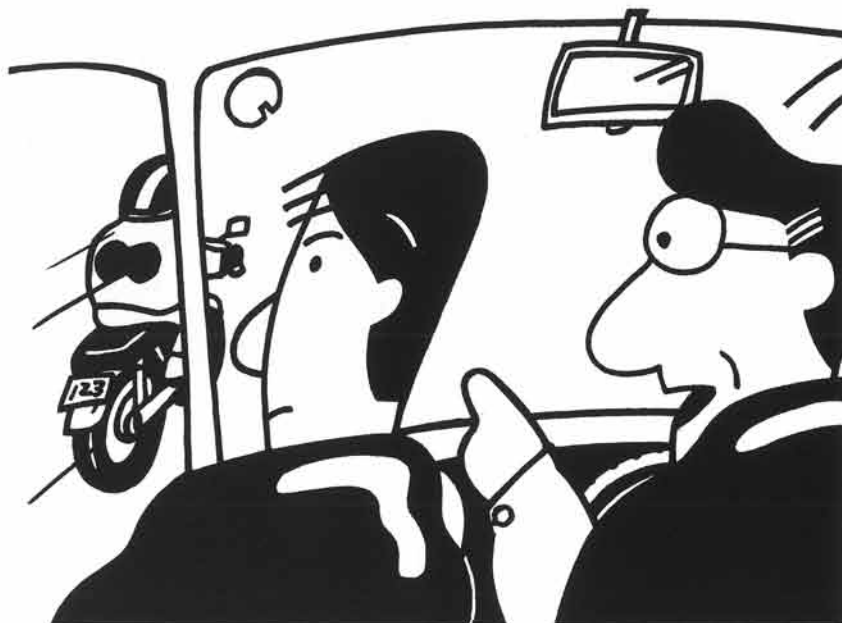
「YSP福生東」さんでは年に数回、スーパリーの店頭などで展示商談会を開いています。ここでもビデオモニターはBGVとして活躍しています。



「直接的な影響は分かりませんが、ビデオを流すことによって、あそこで何かやっていると、という意識づけにはなっていると思います。音楽で立ち止まる人はいないけど、映像なら立ち止まってくれる。これがビデオの持っている力の証明でしょうね」

最近では同店のツーリングクラブのメンバーが、自分で撮影したテープを持ち込むことも多いそうです。1台のビデオデッキが広げる仲間の輪。ビデオの使い方も、アイデア次第でまだまだ広がることでしょう。

息子がライダーになる前に オヤジ流交通教育を運転席でやっています



だからSRみたいなバイクがいいと言ったじゃないか——。ゴールデンウィークの初日、B君の父親は甥の交通事故の一報を受け、肝を冷やす。仲間と信州へ2泊のツーリング、その途中だという。電話での内容では、カーブの手前でジャリを拾い転倒、鎖骨骨折で救急車で病院に運ばれたらしい。

その甥とB君とは、3つ違いで、バイクを購入する時、B君はSRをすすめたらしいが、結局、彼は2サイクルのレーサーレプリカを選んだ。そんな経緯もあって、「だからSR…」の発言となったのだった。

SRは事故を起こさない、という保証などもちろんない。でも、例え甥が自損事故で、加害者にならなかったとはいえ、そのニュースは親戚中を駆け巡り、ほとんど警告に近い言葉となってB君に向けられた。

「だからバイクはやめろっといったじゃない

か」「やっぱりバイクは危ない」そして、「お前はバイクに乗るな!」

思わぬ火の粉をかぶってしまったB君、ゴールデンウィーク中に父親の背中にしがみついていたワンデーツーリングの目論みも泡と消えてしまった。

見舞いに行く途中、助手席に乗ったB君、信号待ちのたびに並ぶバイクを穴が開くほど眺め、そしてベッドの上の甥が、単なるオーバースピードでコーナリングに失敗しての自損事故という、まったくもって未熟さをさらけ出したことが判明すると、「オレの身にもなってくれよ」と「嚴重注意」したのだという。

ベッドの上の少年によると、同じ日、同じ仲間の一人が、その後クルマを巻き込んだの事故を起こしたのだそうだ。

彼らは全員、免許を取得してまだ1年と6ヵ月。いわゆる初心運転者といっている。初心運転者は、厳密に言えば免許取得1年未満

の者をいう。でも彼らのバイクライフを考えると（アルバイト先への通勤や、通学が主）経験面からみて初心運転者のワク内に入れても乱暴ではないだろう。

この1年間で、交通社会人として様々な体験をするわけだ。また、販売店さんにとっては、店頭を通じて彼らに様々な形で、指導する時、もっとも素直に受け入れてくれる時期でもある。

データがちょっと鮮度に欠けるが、'88年で運転免許保有者約5,740万人の中で、初心運転者が占める率は約6%（347万人）と警察庁がまとめている。気になる事故でみると、'88年の全事故が約57万件、その中で7万件（12.5%）を初心者が占めている。経験1年以上の運転者が起こす事故率の2.2倍（死亡事故は2.7倍）だ。

父親は、この初心運転者こそ、先輩やバイクショップや、クラブなどを通じて、しっかりと交通教育をほどこしてあげるべき——との自論を持っている。だから、息子B君が、入学した高校の「三ない」に反対の立場なのだ。「ボクらのクラスでもバイクに興味のあるヤツとそうでない者がいるんだ。ボクは何も全員に乗せろっというんじゃない。乗りたい者は乗っていいんじゃないか。どうして一律禁止なの?」

これ以上はない素朴な質問を父親に投げかける。その答えは結局、どう転んでも学校批判になる。自ら選択し入学した「母校」の良さをもっともって発見してからでも答を出してやるのは遅くないと父親は思っている。

今、B君の父親は、息子を助手席に乗せる毎に、「なっ、あのバイクこの角度からだと思えなかっただろ」てな調子で、やがて初心運転者になる息子を相手に、「オヤジ流コウツウキョウイク」とやらを行なっているという。「これがけっこう父子の対話になるんです」



Tadahiko Taira's
Last Running

「みなさん、熱い声援ありがとう」 平さん、夢をありがとう!

この春、ついに現役ライダー引退を発表した平忠彦選手が、4月26日、桜の花満開のSUGOで『ラストラン』を行ない、現役生活の最後を締めくくりました。

これは、全日本選手権第3戦のなか、特別イベントとして実現したもので、午前中のレースが終了すると同時にグラウンドスタンド前のオーロラビジョンに平選手の想い出深いシーンが次々に映し出されたあと、平選手はゆっくりとファンの前に登場。

「ファンのみなさんの声援を支えに、これまで走り戦って来れました。長い間、本当にありがとうございます。これからも、ロードレースを暖かく見守っててください」と挨拶しました。

そして、スポーツランドSUGO新山社長から記念品、MFJ杉本副ロードレース委員長から感謝状を贈られた平選手は、その後、数々の栄光をともにしたYZR500にまたがり、スタンドに詰めかけたファンに手を振りながらコースを3周。

引退を惜しむ人たちの声に送られながら、恵夫人、愛娘の貴恵ちゃん、麻依ちゃんが打ち振る最後のチェッカーフラッグを受けました。

また、平さんは今後『チームタイラ』を率いる監督として若手ライダーの育成に携わることになっていますが、ヤマハでは、これからもファンのみなさんとともに応援していこうと、平忠彦・栄光への新たな旅立ちへと題した激励、懇親会を4月25日・仙台、5月9日・東京で開催。

それぞれ200名、300名ものファンが平さんを囲んで、賑やかに盛り上がりました。平さんが自ら「尊敬する偉大なライダー」と讃えるケニー・ロバーツ、エディ・ローソン両氏からの祝電も届き、「現役時代と同様、みなさんの声援に応えられるよう力一杯がんばります」と一層意を強くした平さん、そして『チームタイラ』の活躍が楽しみです。



世 界グランプリへ自らのチームを送り込んだ作家の泉優二さんは、仙台会場で平さんとトークショーを披露



レースの合い間に見せる厳しい表情や、無器用に自分の感情を抑えたような寡黙さはない。自分を支えてくれた多くの人々への感謝を、ただひたすら体いっぱい表現し続けた



懇 親・激励会では、自らファンの中に入り、ひとりひとり握手やサイン、記念撮影などに応じて、これまでの声援に心から感謝を現わした平さん。会場へ詰めかけたファンも、自分たちの夢を託した平さんの再出発に大きな拍手を送った



世 界グランプリ250ccクラスで使用したマシンやウェア、そして数々の名シーンを撮影した写真パネルも展示。パネルは、懇親会でチャリティオークションに出され、Y.E.S.S.ナイスライド募金に寄付された。



たっぷりと積める買物スペシャル JOG POCHE

6月10日
新発売

オシャレなジョグポシェにピッタリ

ジョグ
タイプのスタイリッシュスクーターとして人気
モデル(CY50)をベースに、積載性を大幅にア
ップしました。

主婦の買い物を徹底的に調査。積載時の安
全を確保し、高いファッション性を誇る巻き取り
フロントバスケットを装備するとともに、これ
までなかった大容量のリアボックス下にヘッドライト
ユニットは優しい発進特性を持たせています。
特徴であるシート下のヘルメットスペース
はそのままに、リアには大型キャ
リアボックスの奥さまの専用スクーターです。



メイプルレッド



シルキーホワイト



ブラック2



メーカー希望小売価格：¥11,300
(消費税は含まれません)

リアボックスが **全12色**
本体と同色で揃いました

ヤマハスクーターを便利にファッションブル
に演出する好評の電子ロック付きリアボックス
が、ヤマハスクーターの本体カラーと同色にな
りました。ジョグポシェはもちろん、スクータ
ー販売の機会には、ぜひ本体と一緒におすすめ
ください。

「買い物用」と「お仕事用」の便利スクーター2機種新発売



12缶のオイルが残さず
入る1.4ℓオイルタンク

重心位置を変更し安定感を増した
大型リアキャリア(アクシスプロフット)

ハンドルスタンディング
の追加

38ℓ容量の大型リアボックス

余裕タップリのシート

13ℓの
大容量燃料タンク

発進駆動力を重視
したエンジン特性

アクシスプロフット・ボックス(ブラック2)

カラーリング：ブラック2、カメラグリーン(アク
シスプロフット/90)、ブラックメタリック2、シルキ
ーホワイト(アクシスプロフット・ボックス/90)

New MODELS



ハンドル高を30mmアップさせ
楽なライディングポジションを確保

被視認性で向上させ手元灯にもなる
5Wポジションランプ

オプション品の1.5倍容量を
持つフロントバスケット

YG50タイプのハンドルスイッチ類

クラス最大の収納力を誇るキー付フロントトランク

シート下ヘルメット
スペース

60mm拡大したレッグ
シールドでプロテクト効果
をアップ

ライトグリニッシュグレー
メタリック3

メーカー希望小売価格：¥139,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)※価格には保険料、税金
(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：ライトグリニッシュグレーメタリック3、ブラ
ック2、シルキーホワイト、メイブルレッド

オシャレに ヤマハスクーター

ヘルメット収納タ
気を博した先代ジョ
ップする改良を施し
開発にいたっては
定感と易やすさ、
シャッター付のフロ
にもない積荷にジ
を移動した他、エン
さらに従来からの
やキー付フロントト
リアを採用。世界初の



生活のお役に立ちます!

オシャレにたっぷり走る通勤スペシャル

ヤマハスクーター

AXIS PRO FOOT

アクシス プロフット

6月1日
新発売

自宅から会社までのダイレクト通勤やお仕
事に二輪車を活用される各種事業所の使用を
調査し、もっとも要望の多かった航続距離に
改良を加えたアクシスのバリエーションモデ
ルです。

50cc、90ccともにアクシス定評の走りの良
さはそのままに、シート下のメットスペース
を活用し、従来の約3倍にあたる13ℓもの燃
料タンク容量を確保しました。また、シート
クッション厚も10mmアップするとともに形状
も変えてホールド性と足着き性を向上させ、
快適さも追求しています。

さらに、通勤やお仕事に便利な38ℓ容量の
大型リアボックスを標準装備したアクシス
プロフット・ボックスも用意。本格的なビジネ
ス需要に応えます。



アクシスプロフット・ボックス90
(シルキーホワイト)

アクシスプロフット(カメラ)

メーカー希望小売価格：¥166,000/アクシスプロフット、
¥196,000/アクシスプロフット90、¥192,000/アクシス
プロフット・ボックス、¥222,000/アクシスプロフット・ボックス90

(北海道、沖縄および一部離島を除く)
※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用
は含まれません。



New PRODUCTS

スーパーマーキングブルゾンに

RM500

色鮮やかに追加

¥19,800(スーパーマーキング・セミオーダー価格を含む) ※価格には消費税は含まれません。

カラーリング：レッド、パープルネイビー、ライムグリーン

サイズ：M、L、LL、3L

素材：〈表地〉ナイロン100%(ドビーオックス、PUハイポリマーコーティング) 〈裏地〉ポリエステルメッシュ

オリジナルデザインのプリントやワッペンが手軽に入れられることで大好評をいただいておりますスーパーマーキングシステムの対応アイテムに、機能豊富なブルゾンが加わりました。

まず、素材は強い防水性と強度、ソフトな着心地を誇るPUハイポリマーコーティング素材を使用。乗車姿勢に合わせた立体裁断でフィット感を持たせ、エアインテーク、エアアウトレット、総メッシュ裏地により通気性や肌触り感も高めています。

また、走行中にタンクを傷つけないベルクロ留前タテや大型ポケット、ファスナー付左右ポケットなど、乗車時やツーリング時の機能にも配慮を施しました。

Sサイズから3Lサイズまで、大きさも豊富に揃えた『RM500』。お店やお客さまのクラブユニフォームとして、ぜひご活用ください。



SRV250 専用メインスタンド発売

¥7,900(消費税は含まれていません)
注文No.:4DN-W0794-00

シンプルなデザインと十分な機能で、トラディショナルVツインSRV250にベストマッチの専用メインスタンドです。本体とセットでお客さまにおすすめください。

心は白馬でかけめぐろ。



'92 Y.E.S.S.

地球を走ろう、自然を走ろう。

アスリートin信州

SAT SUN
8/1・2

参加者2,000名
限定!

- ミーティング会場/長野県北安曇郡白馬村八方尾根スキー場
- 開催日/8月1日(土)・2日(日)
- 参加申し込み受付期間/5月1日より
- 参加申し込み先/各Y.E.S.S.ショップ
- 参加者/2,000名限定
- 参加資格/Y.E.S.S.スタッフとその家族の方に限らせて頂きます。

●主催/全国Y.E.S.S.ショップ会、全国ヤマハ会

FROM SAFETY

きっちり装備、余裕の走り これで雨中ライディングが快適に！

夏 近し。日ごとに陽差しが強くなり、そろそろ海へ泳ぎに行きたいな、などと感じる暑い日もあるほどです。

夏休みにはどこへ出かけようか、などスケジュール作りを始めたお店も多いのではないでしょうか。

しかし、その前にやってくるのが「梅雨」。ここ数年は7月下旬まで長びいて、ずい分うらめしい思いをさせられました。

雨の日は、走っていてあまり楽しくないばかりか、視界が悪く路面も滑りやすいなど運転しづらく、事故の危険性が高いことから、「雨の日は走りたくない」というのがほとんどのライダーの本音でしょう。

とはいえ、「雨くらいで乗らないなんて！」という根っからのバイク好きもいますし、友達との約束でどうしても出かけなければいけない時、あるいはツーリングの途中で急に降ってきた、などの場合は好むと好まざるとに関らず雨のライディングを余儀なくさせられるわけです。

特に梅雨はそうした機会、回数が急増する時期。どうせならできる限り快適に雨中ライディングが楽しめるよう、アドバイスを心がけましょう。

この「快適に」というのは、雨の日に限った話ではありませんが、ただでさえウツウツとした気分になりがちな雨。そのままではちっともバイクが楽しくありませんし、注意力、判断力、体の動きなどを鈍くさせ、事故の危険性を高めます。意識的に気分をラクにする方法を考えてみましょう。

あるベテランライダーは「気分が重くなり

がちな時、走りながら歌を歌うんです。自分の息でシールドが曇らないよう、ヘルメットのエア抜きをしながらね。けっこう効果があると思います」と話していました。

も うひとつ大切なのは装備。雨で体が濡れてしまうと、急速に体温が奪われて体力、気力を消耗させ眠気が襲ってきます。やや過剰と思われるくらいでも、「快適に」走れる装備、しっかりしたレイン対策を施しましょう。

ツーリングに行く時は、たとえ晴れていても旅先で降らない保証はありません。必ず雨具は持って行くよう確認をお忘れなく。また、降り始める前でも雨を確信したら早目早目に着用することも大切です。

さて、イザ雨の中を走る時、一番こわいのは「滑りやすくなる」とこと「視界の悪さ」。特に、雨の降り始めの時は、路面の砂ホコリなどが水に溶けて粘度の高い液状となり、急激

に路面の摩擦係数を低下させるため、いきなり滑りやすくなるので注意が必要です。

そのほか、マンホールのフタや路面のペイントなど、滑りやすい箇所が道路のあちこちに出現しますので、ブレーキングも慎重さが要求されます。

また、雨による視界の悪さ、ヘルメットシールドの曇りによる視界の低下は、運転をしづらくさせるばかりか、不安感をつのらせます。初心者には特に「快適な」視界を確保するノウハウ、グッズのアドバイスをしておきましょう。

こ れらの細かな知識は、誰よりも実際に走っているライダー自身が豊富に持っていますし、お客さまが集まっている時に話題にすると、とめどなくいろいろな情報が出てくるはず。一度さりげなく切り出して、実践的な雨対策を練っておくといいですね。



人柄が 心が見えます ライディング

第4回Y.E.S.S二輪車サーフィスローガンとマンガ募集/
スローガンの部・準グランプリ作品



YUTORI

バイクゆとりびと

二輪余裕人

見る・見られる・いい運転。

人とバイクの友好生活

SALES

高い実用機能を効果的にアピールください JOGポシェ&AXISプロフット

ファッションナブルで軽快、バツグンのフットワークが魅力のスクーターは、今や交通社会に欠かせない機動力として、幅広いお客さまのお役に立っています。

しかし、その利便性が認められていくに連れ、もっとビジネスや生活のシーンにジャストフィットする機能を求

める声が高まってきました。

そこで、ヤマハではショッピングスベシヤル、JOGポシェと通勤、ビジネスユース仕様、AXISプロフットを6月から新発売いたします。

これまで、ありそうでなかった実用機能最優先の新しいスクーター。ぜひ店頭でも積極的にご取扱ください。

その時、一番大切なのは、対象見込客の洗い出しです。代替えはもちろん新規需要開拓についても、高い実用機能+ファッション性というセールスポイントを踏まえ、効率的なアプローチを行ないましょう。

特に、商圏内で今ひとつ弱かった地域でも新たな客層を掘り起こす、絶好のキッカケ作りが可能です。インパクトある展示、店舗、告知を工夫して、より大きな成果をご獲得ください。

ヤマハでは、基本ツールとして、各車の魅力的なプロフィールをわかりや

すく紹介したDMやパンフレットなどを用意しました。お店の活動内容に合わせてご利用ください。



はじめてのショッピング専用スクーター登場。
JOG POCHÉ

AXIS PRO FOOT

AXIS PRO FOOT

- ① JOGポシェ・DMハガキ
- ② AXISプロフット・DMハガキ
- ③ JOGポシェ・パンフレット(3つ折)
- ④ AXISプロフット・パンフレット(3つ折)
- ⑤ AXISプロフット・パンフレット(事業所向け)

Y. E. S. S.

今年もタイ南部「チャム」ブーケット島」 『第6回毎日・Y.E.S.S.海外バイクツーリング』

毎日新聞社とヤマハが協力して行う恒例「毎日・Y.E.S.S.海外バイクツーリング」を、今年も7月19日から25日までの7日間の日程で開催します。

6回目となる今年も、昨年のタイ北部地方に続いて、シャム湾に面したチャムブーイチからブーケット島へ至る代表的リゾートを巡るコース。

タイでは珍しい温泉地での宿泊も組み込んだ750kmに及ぶ旅は、ヤマハVR150の新车を用意しています。

南国の美しい海岸線を眺め、タイの素朴な人々との触れ合いも楽しめるエキゾチックなムード満点のサマーツアーに、ぜひ多くのお客さまと一緒にご参加ください。

●第6回毎日・Y.E.S.S.
海外バイクツーリング in タイ
期間/7月19日~25日 7日間
料金/31万3000円(ひとり)
航空運賃、宿泊、食事(全日程)
レンタルバイク代、ガソリン代
レンタールバイク代、ガソリン代
伴走車代などを含む

募集人数/30名(最少催行15名)
参加資格/バイクツーリングに支障のない健康な方で、有効な国際免許を所有または取得可能な方。

主催/毎日企画センター旅行事業部

協力/サイアム・ヤマハ、全国Y.E.S.S. ショップ会、ヤマハ発動機株
問合せ/毎日企画センター「タイ・バイクツーリング」係
03-3212-0321

申込み/毎日新聞旅行「タイ・バイクツーリング係」〒100東
京都千代田区……
毎日新聞社内

※申込み方法など詳しくは、右記問合せ先にてご確認ください。

SAFETY

安全運転テクニックとマナーを競う 二輪車安全運転大会スタート!

交通事故を防ぎ、楽しいバイクライフを過ごすためには、確かなライディングテクニックの修得と正しくルール、マナーを守る心が大切です。

そこで(財)全日本交通安全協会では毎年、ライダー同士がお互いの安全運転テクニックとマナーを競い、高め合う場として、『二輪車安全運転大会』を

開催しています。
25年目となる今年も、8月の全国大会出場をめざして地区大会が始まります。早いところでは4月、5月に実施された地区もあります。大半はまさにこれから。

店頭でもぜひ多数のお客さまが出席されますようご案内ください。

■第25回二輪車安全運転地方大会日程

北海道	6月28日(日)	三重	6月7日(日)
青森	7月4日(日)	大阪	6月14日(日)
岩手	6月28日(日)	奈良	7月26日(日)
宮城	6月28日(日)	鳥取	7月12日(日)
秋田	6月28日(日)	島根	6月28日(日)
山形	6月21日(日)	岡山	7月5日(日)
福島	7月4日(土)	広島	6月7日(日)
茨城	6月7日(日)	山口	7月5日(日)
栃木	7月12日(日)	徳島	6月28日(日)
群馬	未定	香川	6月20日(土)
埼玉	6月28日(日)	愛媛	7月12日(日)
神奈川	6月7日(日)	高知	6月7日(土)
新潟	6月21日(日)	福岡	7月5日(日)
山梨	6月7日(日)	佐賀	7月12日(日)
長野	7月5日(日)	長崎	6月21日(日)
静岡	6月14日(日)	熊本	7月19日(日)
高山	6月14日(日)	宮崎	7月19日(日)
石川	未定/4月中決定	鹿児島	7月12日(日)
福井	未定	沖縄	未定
愛知	6月7日(日)		



SERVICE

ハイシーズンの谷間はメンテナンス好機 サービス受入れ態勢は万全ですか？

バイクシーズン前半のヤマ場、ゴールデンウィークも終わり、次はいよいよ最大のハイシーズン・夏休みを待つばかり。

遊びのしかけづくりに余念がないところではありますが、その前に忘れてはならない車両のチェック。夏本番に備え、キチンとしたメンテナンス実施

を促しましょう。

6月、7月は梅雨の時期。乗りたくても乗れないお客さまが、チャンスとばかりに点検、メンテナンスで訪れます。お店のスタッフ全員がその時になつて慌てないよう、心づもりと体制づくりを万全にお客さまを迎えてください。

■新刊サービスマニュアル

モデル	注文No.	価格
YA50/90H(HS)	3VP-28197-07	600円
ゼロー225/225S	3RW-28197-06	600円
CY50H	3KJ-28197-01	2500円

*価格はメーカー希望小売価格。消費税は含まれません。

■YTSヤマハ二輪車整備士講習会日程

開催月	北海道	東北	ヤマハ	東京	研修	神戸	中	四	ヤマ	福岡
会場	ヤマハ	ヤマハ	ヤマハ	ヤマハ	ヤマハ	ヤマハ	ヤマハ	ヤマハ	ヤマハ	ヤマハ
6月			2M 2-4	2M 16-19 4M 24-26	D 16-19 2M 24-26	2M 1-3 4M 4-6 4M 24-26	B 2-4 佐々木 B 9-11 岡山			2M 10-12
7月		2M 13-15 4M 16-18	2M 7-9 4M 22-24	2M 1-3			B 8-10 福山 B 22-24 広			B 7-9
8月			2M 4-6							
9月			4M 8-10 B 16-18	2M 2-4			B 2-4 佐々木 B 9-11 松江 2M 17-19 島 2M 24-26 岡	B 8-10 山		4M 9-11

B/ベーシック 2M/2サイクルマスター 4M/4サイクルマスター D/ドクター
*都合により開催日の変更および中止をする場合がありますので、ご了承ください。また、上記以外にも拠点開催のベーシックがありますので、各営業所へお問合せください。

SUGO

プレイ、宿泊、食事までオールパック 夏休みはSUGOでのんびり休暇

いよいよ夏本番目前。ツーリングやお店の社員旅行など、休暇を楽しむプラン作りが忙しくなる時です。あれもやりたい、これもやりたいと希望はたくさんあるけれど、その手配が大変。楽しい反面、悩みも尽きないことでしょう。そこでご利用いただきたいのが、SUGO自慢の「サマーパック」。杜の都

仙台郊外に広がる自然をそのまま生かした園内でアウトドアの楽しさを満喫できるキャンプ泊が、リゾート感覚のリッチな気分できつるホテル泊が選択可能で、さまざまなプレイ施設を利用できるプレイチケットもついています。もちろん、キャンプ泊の場合はテントやランタン、毛布、バーベキュー&

朝食セットまでついていきますから、ほとんど手ぶらでもOK。何から何までおまかせの、たっぷり遊べる余裕のパックです。そのほか、ご希望に応じて各種オプションの設定もできます。お気軽にご相談ください。詳しくは、SUGO東京営業03-3575-4771または仙台営業02-241-83147-1まで。

料金/キャンプ2泊
おとな・110000円
こども・100000円
ホテル2泊
おとな・340000円
こども・210000円
キャンプ泊ホテル泊
おとな・220000円
こども・150000円



6月のヤマハ提供番組

ONANDOFF
陸と海、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数かずを紹介する番組です。巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選び抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマイนด์たつぷりにお届けします。

- ▼6月6日(ハマリ編) 『開業医高橋さん』
- ▼6月13日(バイク編) 『マンガのようなバイクライフ』
- ▼6月20日(ハマリ編) 『シーホッパーセイラー 渡辺紀世子』
- ▼6月27日(バイク編) 『BOWの世界』

◆NNN・今日の出来事
毎日のさまざまなニュースやスポーツ情報を、タイムリーにお届けする夜のニュース番組。知的でさわやかな桜井良子キャスターを中心に、それぞれ個性的なキャスター、コメントーターが切れ味鋭くテーマに迫ります。

◆92ロードレース世界選手権
世界のバイクファンを熱くさせずにはおかない「ワールドグランプリ」の興奮を、千年屋俊幸アナウンサー、元GPライダー福田照男さんの解説でお届けします。

W・レイニー、J・コシンスキーなどヤマハライダーの活躍をじっくりお楽しみください。
TXN系列6局/毎週日曜日24時30分から25時25分。テレビ静岡/毎週火曜日25時20分から26時15分。

浜松から東京へ想い出ルートをとどる 「赤トンボツーリング」



初日の目的地、箱根湯温泉まであとひと息。夕焼けが美しい箱根峠でつろぐ

4月25日(土)午前8時、静岡県磐田市ヤマハ発動機・本社駐車場。さわやかな朝の陽射しの中、眩しい程にきらめく7台のオートバイが勢揃いしました。その名はヤマハYAI。通称「赤トンボ」。ヤマハ(当時、日本楽器製造)が1955年、新たに進出したモーターサイクル部門の記念すべき第一号車というばかりでなく、その美しさや卓越した性能の高さから、まさに一時代を画す名車中の名車と呼ばれる一台です。そのYAIを今でも大切に乘っている人達が千葉県に本部を置く、YDSクラブのみなさんです。メンバーの多くは40〜50代のベテランライダーですが、バイクに対する愛情は若い時以上。今回も、クラブ創立10周年を期に、YAIの性能をアピールするために川上源一社長(現最高顧問)が浜松から箱根を越えて東京まで自走したコースをもう一度、YAIなど創成期のマシンでたどり、その足跡を振り返ってみようというツーリングを企画しました。



何とか完走したい……久世さんの熱い想いがついにYAIをよみがえらせた

参加者は、YAIが6台とYCIが2台、YDSIIが1台(うち2台は途中合流。他にサポートとして車4台が加わり万全の態勢です。しかし、何といっても30数年前のバイク。スタート3分後に早くもYAIの1台にプラグトラブルが発生。メンバー協力のもと、慣れた手つきで新しいものと交換して無事エンジンは始動しましたが、藤枝市内に差し掛った所で、今度は別のYAIが1台ストップ。マフラーが外れるという予測外のアクシデントで修理がまなりません。ライダーの久世さんは、一度リタイアを覚悟したものの、昼食もそこそこに修理したがいあって、YAIは再び元気に始動。これでまた走れると久世さんの表情に笑顔が戻りました。そして午後6時、箱根峠でリタイアしたYCIの1台を除いて、全車無事に箱根の宿に到着。温泉で旅の疲れを癒した後は、お待ち兼ねの宴会。YAIをさかんに遅くまで話がはずんでいました。翌日も好天。東京へ向けて新緑にまつまれた箱根の山を下るYAIは、実に美しくみえました。

より実戦的なアドバイスで事故防止 「グッドライダーミーティング」

東京を中心とする首都圏は、人の数に比例してクルマやバイクも多く、それだけ交通事故の危険性が高い地区です。全国レベルで見れば、ここ数年減少傾向にあった二輪事故も、東京では今年に入って再び急増。ライダーに原因のあるなしは別にして、一層積極的な事故防止への取り組みが求められています。そんななかで、東京都二輪車安全普及協会は、若いライダーにライディングテクニックと混合交通内のルールやマナーを身につけてもらおうと「グッドライダーミーティング」を開催しました。4月26日、府中運転免許試験場の全コースを使用して行なわれたこのイベントは、警視庁、グッドライダー宣言協賛店、二輪車安全運転指導員のみなさんの協力で実現したもので、昨年に引き続き2回目の試みです。それほど大規模な告知活動がなかったにも関わらず、当日参加を含む16

名のライダーが参加。「本格的なシースキンに合わせて体慣らし」「また経験が浅いので早くうまくなりしたい」などの声が多く、目的意識の高さを感じさせました。



今年でいよいよ16回目を迎える伝統のビッグイベント「イーハトーブ・トライアル」が、8月21日から23日の3日間にわたって開催されます。宮沢賢治を生んだ岩手県を舞台に、童話世界のようにおほかたでジェントルな雰囲気を楽しめる大会です。開催クラスは4つ。S・S・D・Tを手本にしたツーリングトライアルで競う「2日間トライアル」と、中級者向けの「クラシック」、2日間はムリかな

自分のレベルで腕だめし! イーハトーブTR出場者募集

という人向けの「ブドリ」、そして出場することに意義がある派の「ネリ」。トライアルが好きで、ルールやマナーの点でオトナである人なら誰でも参加できます(当該クラスの車種に合う運転免許を持つこと)。自然、人、バイクの一体感を存分に満喫するには最高の大会。家族や仲間と一緒に参加してみるのもいいですね。

●第16回イーハトーブ・トライアル

日程・会場

- 「2日間」 22日・23日・七時雨
- 「クラシック」 21日・22日・七時雨
- 「ブドリ」 23日・安比高原
- 「ネリ」 22日・安比高原

参加費(保険料含む)／1名

- 「2日間」 15000円
- 「クラシック」 12000円
- 「ブドリ」「ネリ」 10000円

エントリー受付

6月30日まで

※参加案内書は、5000円切手同封のうえ、〒020盛岡市内丸2-10(株)レビ岩手「イーハトーブトライアル事務局」(☎0196-241166)までご請求ください。



警視庁・女性白バイ隊「クイーンスターズ」もインストラクターとして参加



各種目ごと、ひとりひとりに細かなアドバイスがなされた

講習は、まず体操で体をほぐしてから、短制動、スラローム、ストップ&ゴー、コーナリング、法規走行など、実戦的な走行練習を実施し最後は最も発生率が高い右直事故に対する講義で締めくくると、ポイントをしっかり押えた内容の濃いもの。参加者の評判も上々でした。今年秋には第3回の開催も予定されています。

『第2回親子バイク広場』

「バイクとの幸せな出会いを！」

「第2回親子バイク広場」

「バイクの楽しさをより多くの人へ」

「60名が参加した単店主催のオフYRS」



YSP安芸さんは、遊びの提供に日頃から熱心



オフロードライディングは難しくない。まずは慣れ、楽しむこと

「バイクとの幸せな出会いを！」

「第2回親子バイク広場」

「バイクの楽しさをより多くの人へ」

「60名が参加した単店主催のオフYRS」

「バイクの楽しさをより多くの人へ」



おとうさん、おかあさんや子供たちの、屈託ない笑顔が魅力的

「ヤマハ」をもっと知ってほしい！

新しい企業紹介ビデオ完成

「ヤマハ」をもっと知ってほしい！

「ヤマハ」をもっと知ってほしい！



「ヤマハ」をもっと知ってほしい！

岡本綾子連覇ならず！塗が逆転V

「ヤマハカッププレディス」ゴルフ



賞金総額5000万円のビッグタイトルを手にした涂は、昨年6月以来の勝利

「ヤマハ」をもっと知ってほしい！

「ヤマハ」をもっと知ってほしい！

『JET BUDDY』新発売!

アクションライディング、ツーリングなど、幅広い楽しみ方ができるパーソナルウォータークラフト『マリッジエット』は、近年、若者たちを中心にますます人気を拡大しています。

そんなマリッジエットの世界をさらに大きく広げるのが、今年6月に新発売した『JET BUDDY』です。

一見、ふつうのパワーボートみたいな形ですが、実際は馬蹄型のように後部から中心部にかけて窪みがあり、そこにマリッジエットをドッキングさせるというユニークなボート。いわば水上ステーションとでもいうところでしょうか。合体して走行すれば、合計6名までの搭乗が可能で、マリッジエットのかわりに小型船外機を付ければ自走もOK。



初年度限定100艇、6月新発売

仲間や家族とのクルージングや海水浴などで絶好のベースポイントとなるほか、アイデア次第で楽しみ方も自由自在。この夏の新しいトレンドアイテムとなりそうです。

東欧諸国も民主化の波にのり モーターゼーション活性化

東西ドイツの統合、ソ連崩壊など、東欧諸国は急速に民主化の動きが高まっていますが、そうしたなかでモーターゼーションの進展も盛んになってきています。



ハンガリーの若者たちも、最新のモーターサイクルに興味津々

ています。

ハンガリーの首都ブダペスト、ポーランドのポツナンではモーターショーが開催され、ヤマハもモーターサイクルやマリッジエットをはじめとする各種商品をスラリ展示。

ショーには数多くの来場者が詰めかけ、ポーランドではテレビ放映も行なわれたほどの高い関心を集めています。また、マヤハモーターヨーロッパはスロベニア人のメカニックを対象としたサービス講習会をドイツで開催。

西欧から東欧へ、新しい市場の開拓というビジネス戦線も今後大きく拡大していきそうです。

早くも次回大会へ向け始動! ニッポンチャレンジアメリカ杯



初挑戦では上々の成果を収めたニッポンチャレンジ。次こそカップをノと意気あがる

今年初めて『アメリカズ・カップ』ヨットレースに挑戦したニッポンチャレンジチームは、挑戦艇選抜シリーズで大健闘。

イタリア、ニュージーランドなどの有力チームを相手に互角の戦いぶりを見せ、ベスト4が揃う準決勝にトップの成績で進出を果たしたほか、そのシーマンシップの高さに世界中から評価が集まりました。

4月22日、帰国後の報告会でニッポンチャレンジ・山崎会長は、準決勝で4位に終わったことは残念だが、次回再びチャレンジするうえで今回得た数々の体験は大変貴重なものだ。次の開催地がどこになるかと、今度はカップをめざして優勝するためにチャレンジする。

と力強く表明。すでに、新しい体制づくりもスタートしています。

今回は、1995年の開催になるものと見られていますが、同報告会に出席した名スキッパー、クリス・ディクソンも「当面の課題は強いチーム作り。ニッポンから声がかかればまたぜひ参加したい」と語りました。

それに伴って、新しいニッポンチャレンジアメリカ杯委員会では、新人クルーの募集も行なっています。条件は18歳〜26歳の健康な男性。身長、体重、スポーツ歴を明記した履歴書と志望動機をまとめたレポート、全身写真が必要です。

詳しいお問い合わせは「ニッポンチャレンジ事務局 新人クルー募集係」
☎03-3578-9661まで。
書類の締切は6月12日(消印有効)となっています。

'92 YAMAHA NOVELTY

突然の雨にも平気



■防風防水ライター
(No.373002・3/3800円・4000円)
強い雨風の中でも、確実に一発着火。キャンプにツーリングに、アウトドアで威力を発揮する頼もしいライターです。



■ナップサック(バック)
(No.373048/2500円)
ツーリングの荷物の中に、ぜひひとつ常備したい便利な一品。大荷物をとりあえず預けて行動する時、濡れたタオルやTシャツ、汚れたものを区別して収納する時など多目的に活躍します。



■Tシャツ(プレーン)
(No.373047/2000円)
夏の定番、Tシャツ。たとえ日帰りツーリングでも、予備は必需品。汗、雨などで濡れたらすぐに着がえて気分スッキリ!

■フェイスタオル
(No.373041・2/600円)
コットン100%の生地は、肌ざわりがよく吸水力もバツグン。汗や雨で濡れた体を、気持ちよくふき取ってさわやかに!





●全日本トライアル選手権シリーズ第1戦・日本GP ヤマハワークスチーム 3台のTYMを開幕戦に投入

*登りでのパワー、扱いやすさは抜群*TYMのポテンシャルの高さを実戦でつかんだ中川



タイトルを目指す2人にとって、やや出遅れた感のある開幕戦となった

伊藤、中川の激しいランキング争いの末、中川の初タイトル獲得で終了した'91全日本トライアル選手権。それから約5ヶ月のインターバルを得て、4月26日、広島県ヒバレイスキー場で、'92シリーズの開幕戦が行なわれた。

元世界ランカー、バスカル・クトワリエの参戦、ライダーの移籍など、話題の多い第1戦に、ヤマハワークスチームは昨シーズン伊藤唯一人がライディングしていたワークスマシン「TYM」を3台投入。引き続き伊藤、昨年のチャンプ中川、そして開発を務める中村悦之に託した。

13セクション×3ラップで行なわれた競技では、1ラップ目、中川が減点39、伊藤は44(トップは23)と大きく出遅れる。

結局それが最後までひびき、中川5位、伊藤はタイムベナルティも多く14位と、不本意な成績で開幕戦を終えた。

「テストは十分こなしてきたが、実戦でTYMを駆るのは初めてで、その挙動がつかめないうちに終わってしまった。サスセッティングの失敗だったけど、登りでのパワー、軽い車体と、TYMの素性は素晴らしい。第1戦のデータは必ず生かす」と中川。成績には不満ながらも、充分な手応えをつかんだようだ。

実戦を通し、TYMのさらなる熟成を進めるヤマハチーム。シリーズは7戦と短い。きつと大きな成果をあげてくれるだろう。

●全日本トライアル選手権
第1戦/日本GP(4/26)
①P・クトワリエ ②小林直樹
③小谷徹 ④三谷英明
⑤中川義博 ⑥奥裕明

Racing RExpress



遅れていた体調の回復、マシンのセットが進んで勝負はこれから

WORLD
RR
●世界選手権ロードレースシリーズ第4戦スペインGP
我慢のレースが続くレイニー
3戦連続の2位

リタイアに終わった日本GPの後、第2戦オーストラリアGP、第3戦マレーシアGPと、2戦連続でドゥーハンの先行を許してしまったW・レイニー。舞台をヨーロッパに戻して開催されたスペインGPでも苦戦を強いられた。

予選でフロントタイヤのベストマッチが得ることができず、2番手グリッドからのスタート。決勝でもこれが解消されず序盤こそドゥーハンの後につけるが徐々に離され、勝負に出られぬまま約20秒差をつけられての2位でフィニッシュした。

結果はともかく、今回のYZR500の仕上がりは、タイヤの問題を除けば最高だったというレイニー。

「これからやるべきことは沢山あるが、私のコンディションは100%OK」とレース後に語るレイニー。シーズンオフのケガの状態も良いようで、早く一勝が欲しいところだ。

またこのレースではN・マッケンジーが活躍。シュワツ、クリビールとの接戦の末に3位入賞。久々に表彰台に登った。

WORLD
RR
●全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦SUGO大会
0.002秒差
原田哲也惜しくも2位



レース序盤、岡田を執ように攻めたてトップを奪った原田だったが...

4月26日に開催された第3戦・SUGO大会は、平忠彦選手のラストランで賑わいを見せたが、レースもこれに見劣りせぬ内容となり観衆を沸かせた。

GP250ccクラスは、ゼッケン1と2、エース同志のトップ争いが展開された。第2戦筑波で、他軍との接触によるマシントラブルでリタイアを喫している原田は、コースレコードでポールポジションを獲得。決勝でもそのレコードを更新する走り、岡田と好バトルを展開するラストラップのシケインで岡田を抑え

た原田。そのまま逃げきるかに見えたがゴール手前200mで岡田が並びかけた。もつれるように飛び込んだゴールは、0.002秒だけ、岡田が速かった。

「信じられない。ストレートを登り切ったところで勝てると思っていた。次回はこういうレースで勝ちたい」と惜しそうな原田。

トップ争いの後方でも福智学が沼田と3位争いを展開。コンマ15秒差で4位となったが、自己最高の順位に「次はこの上を」とさらにやる気を見せていた。

- 全日本ロードレース選手権シリーズ
 第3戦/SUGO(4/26)
 (500クラス)
 ①D・ピーティ ②伊藤真一 ③K・マギー
 ④藤原慎彦 ⑤高橋勝義 ⑥本間利彦
 (250クラス)
 ①岡田忠之 ②原田哲也 ③沼田憲保
 ④福智学 ⑤青木宣典 ⑥青木拓磨
 (F-1クラス)
 ①塚本昭一 ②青木正直 ③武石伸也
 ④宗和孝宏 ⑤永井康友 ⑥高橋秀延

- 世界選手権ロードレース
 第3戦/マレーシアGP(4/19)
 (GP1)
 ①M・ドゥーハン ②W・レイニー
 ③A・クリビール ④J・ガリガ
 ⑤D・チャンドラー ⑥D・ピーティ
 第4戦/スペインGP(5/10)
 (GP1)
 ①M・ドゥーハン ②W・レイニー
 ③N・マッケンジー ④K・シュワツ
 ⑤J・コジンスキー ⑥P・ゴダード

Racing
RExpress



●全日本モトクロス選手権シリーズ第4戦・中国大会 全日本をかきまわすチームYZ 大河原功次がランキングトップ

開幕戦の1・2・3フィニッシュ以来、増田智義、鈴木健二、大河原功次のチームYZトリオの活躍が続いている。第1戦でA級初優勝を飾った大河原は第3戦、ヒート2でも優勝。増田、鈴木も入賞圏

内ではレースし、高ポイントを獲得している。第4戦中国大会でもこの3人の活躍はとまらない。3戦終了時でのポイントリーダー大河原はヒート1こそ2度の転倒



「ワークスに負けないように頑張る」という大河原、メットを脱げばまだあとけなさが残る18歳



で9位に終わるが、ヒート2では田漢武から2位を奪いランキングトップの座を守り、増田はその田漢武と2ヒートともバトルを演じ、3・4位で総合4位。また鈴木もヒート2で増田と5位を争う最中に転倒するも、再スタート後の追い上げで6位に入り、3人そろっての入賞を果たした。

昨年までには見られなかった粘り強さが感じられる。スタートが良くても転倒その後は順位を落とすという姿は今はない。特にスタートが良く、しかし転倒でポイントがかせげないケースが多かった鈴木は、現在ランキング5位と気をはいている。

同じ僚に住み、一緒にトレーニングをしてお互いを刺激し合う3人に、ヒート1で4・5・6位とようやくエンジンのかかりだした田漢武、川崎、光安のワークス勢が本調子になれば、これからの展開は本当に面白くなるだろう。



D・シュミット 3ヒートを完全制覇! ●世界選手権モトクロスシリーズ第4戦・イタリアGP

海の向こう世界選手権でも、YZ250を駆るヤマハ勢の活躍が目立っている。第2戦スイスGPでR・ムーア、第3戦オーストラリアGPではA・ブザールがヒート優勝。そして5月3日に開催された第4戦イタリアGPでは、D・シュミットがヒート1で250クラス初優勝し、その勢いそのままヒート2、3も制し、3ヒート制になって初めての完全優勝を遂げた。

ランキングでは4ポイント差の2位にブザール、4位にシュミット、5位ムーアとヤマハ勢が続き、全日本同様にこれからのレースが大いに期待されている。



今シーズンから250に乗る90-125チャンプは、苦手とするSX的なコースで完全優勝

- 全日本モトクロス選手権
第3戦/近畿大会(4/26)
(ヒート1)
①大塚忠和 ②E・ウォーレン ③花田茂樹
④大河原功次 ⑤鈴木健二 ⑥枝合潔
(ヒート2)
①大河原功次 ②E・ウォーレン ③宮内隆行
④大塚忠和 ⑤花田茂樹 ⑥田漢武
第4戦/中国大会(5/10)
(ヒート1)
①花田茂樹 ②E・ウォーレン ③増田智義
④田漢武 ⑤川崎智之 ⑥光安鉄美
(ヒート2)
①E・ウォーレン ②大河原功次 ③田漢武
④増田智義 ⑤馬場義人 ⑥鈴木健二

- 世界選手権モトクロス
第3戦/オーストラリアGP(4/26)
(250ccクラス)
(ヒート1) ①A・ブザール
②T・バーカー ③M・ハーレイ
(ヒート2) ①J・トブ
②B・マンネ ③D・シュミット
(ヒート3) ①B・マンネ
②A・ブザール ③T・バーカー
第4戦/イタリアGP(5/3)
(250ccクラス)
(ヒート1) ①D・シュミット
②S・エバーツ ③B・マンネ
(ヒート2) ①D・シュミット
②A・ブザール ③R・ムーア
(ヒート3) ①D・シュミット
②B・マンネ ③T・バーカー

YSP三鷹さん

東京都三鷹市
古田哲郎社長

ブームを育てる「ショップ活動」
「楽しく学べる」をキーワードに
オフロードYRSでファンを拡大!!





イベント終了後には、その模様を店内に掲示。次回開催時の参加者募集に役立っている



初級、中級、上級コースに分けて行なっているが、どちらも内容は基本的なもの。発進、停止、コーナリング、そしてバランス走行とカリキュラムが消化される



インストラクターの本橋さんは、いまでもお客さまを誘ってレースに参加。今シーズンは2戦終了時点でトロフィー2本!!

「オフロードの楽しみ方はひとつじゃないと思うんですよ。そのあたりをお客さんに知ってもらいながら、店としても新しい遊びを発見していきたい。今年からスタートしたオフロードYRSは、そんなところが目的なんです」

「YSP三鷹」さんが単店で開催しているオフロードYRSは、少し変わっていると言えられない。年間で約10回の開催を予定しているが、同じ会場を複数回使うことがまずないのである。

オフロードコースで行なうこともあれば、林道での講習もある。かと思えば特設コースを用意してのスクールもある、といった具合なのだ。たったひとつ共通していることといえば、毎回会場までは揃ってツーリングで向かうことぐらいだろう。

「最初は上手になりたい一心で参加させてもらったんです」

と話すのは、竹中治さん(22歳・会社員)。「YSP三鷹」さんのサービス主任、本橋直司さんの誘いで初めてYESSENデューロに参加したのが「昨年。自信はあったのに結果はポロボロ」で、とても口惜しい思いをしたという。その直後に愛車FZR1000を手離して、DT200WRを購入したそうだが、「オフロードYRSで、一から鍛え直してもらおう」と考えたのである。

このスクールでインストラクターを務めているのは、イベントの仕掛け人である古田哲郎社長と前出の本橋さん。特に本橋さんは89年のYESSENデューロのシリーズチャンピオンという実績を持っており、お客さまからの信頼も絶大だ。一方、古田社長も各地で開催されているスクールからノウハウを学びとり、自店主催時のカリキュラムづくりに役立っている。

「毎回ツーリングしながら会場に向かうのは、一般路の走行が直接的な安全運転指導に結びつくからなんです。みんなで走れば楽しいし、走りながらのアドバイスもできますから」

古田社長と話していると、「楽しい……」という言葉が連発される。たどたどしいスクールとはいえ、楽しみながらでなければ意味がないという古田社長の考えの表れだろう。そのとおり、4月28日に開催されたオフロードYRSは、スクール終了後に河原でバーベキューパーティーが開かれている。



会場では熱血インストラクターに変身する古田社長(左)、そして本橋さん

こうした地道な活動を通して、古田社長も大鼓判を押す「真のオフロードファン」が育ったケースは数知れない。冒頭の竹中さんもそのひとりだ。

竹中さんのように、オンロードバイクに乗りながらオフロードYRSに参加するお客さまも毎回4〜5人いて、お店の用意するレンタルバイクで汗を流しているようだ。その時、「オフは面白い」と感じてもらえたなら、それこそ古田社長の目指すところだろう。

オフロードYRSをスタートさせてから、同店の販売比率は大きな変化を見せるようになった。言うまでもなく、セロー1225、DT200WRといったオフロードモデルの構成比が高まっているのだ。ここ2〜3年に起こった急激な変化は、単なるブームへの便乗ではなく、活発なショップ単位の活動にあるという証ではないだろうか。



街のバイク・ドクターは プロを自認する職人の集まり

未長いバイクライフをサービスで支援するお店

YSP広島南 広島市南区出汐2-2-24 ☎082-251-3686

「新鮮さ」の維持のため
リニューアルに着手

「メカニック・プロ集団」 「ベストアフターサービス」 「スリースター店」……手に入れた新聞の折り込みチラシには、あちこちにサービスの言葉が踊っている。

「サービスを売るお店」それがこの店のカラーだった。

『YSP広島南』さん、今回お伺いしたお店だ。

同店の社長は蒲池毅さん。ショップは広島市の中心商業区、中区のお隣の南区に位置している。広島駅からクルマでおよそ15分ほど、国道2号線に面した絶好のポジションだ。

「こんにちは」と声をかけ、店内に入る。一目見て、風通しのいいお店だな、と感じる。

30坪弱ほどのショールームは、中央に置かれたSRV250を中心に7台ほどがゆったりと展示されている。整然と飾り付けられている用品コーナーの対局には、グリーンで仕切られた休憩スペース。商談カウンターとその後ろの書棚が半月状に弧を描いて、柔らかな印象だ。通りに面する壁面はすべてガラス。店内は奥の奥まで明るい。「風通しがいい」というのはつまり、店内を見回す視線に邪魔なものが何ひとつひっかからない、ということだ。それほど店内は整然とまとめ上げられていた。

「ようこそいらっしゃいました」
こう言って迎えてくださったのは、蒲

サービスを売る店と決めたからには認証工場資格が欲しかった お客さまへのアピールはもちろん、 働く人間の意識高揚にもつながりますから



ショールームから工場への入口には、スリースター店の認定証がかかげられている



サービスカウンター上に並べられた認定証の数々。下の戸棚にはサービスマニュアルが収められている



2サイクルマスターにふさわしい仕事をと岸さん。毎日か真剣勝負

池社長の奥さま、繁子さんだ。「きれいなお店ですね」私たちの第一印象を伝えると、

「今年の2月にリニューアルを手がけて、3月に再オープンしたばかりなんですよ」と繁子さん。

「……常にフレッシュイメージを保つこともとくに大切な集客ポイントですから」と、とくにの部分を強調して繁子さんは話を続けた。

お客さまをどう魅きつけるかーオープン以来、最重要課題としてこの

テーマに取り組んできた。というのも、広島市中心街にほど近い、国道2号という大動脈が流れる周辺は数多くのバイクショップが乱立する、商売の激戦区なのである。

蒲池さんはお店を出店するにあたって考えた。この場所で店を維持するためには独自のカラーが必要だ、ともともとトラックのディーラー動機をしていた蒲池さん。メカニックには自信を持っていたこともあって、新店舗のカラーは「サービス主体の店」と決ま

った。

サービスがカラーの店 認証工場資格を取得

ひと口にサービス、といってもハードとソフトの両方を充実させなければならぬ。

ハード、つまり設備の充実にあたっては、蒲池さんは認証工場資格を取得することを自指した。

「サービスを売る店と方針を決めたからには、まず認証だ。社長はこう言

って店舗の設計段階からサービス工場の部分にはとくに気を配っていましたね。設備の整った認証資格のある工場はお客さまへ大きなアピールになります。もちろん、そこで作業をすすめることになるサービスマンにとっても、整備がしやすいことになりそうです。」

ショールームに隣あった工場は、広い間口から差し込む陽光できわめて明るい。しかも三方がシャッター式に開閉できるため春の風が軽やかに抜けていく。ショールームに面する壁面は、広いガラスで仕切られている。

「修理を頼んだお客さまが自分のバイクの修理の様子を見られるようにしたいんです。自分のバイクがどこか裏へ持っていかれてしまうと不安でしょう。修理を見せることもサービスの一環だと考えています」

ガラス張りのサービススペースは常に人の目にさらされる。だから自然と整頓にも気を使うようになりますね、とは店長の岸さんだ。また、国道側の間口が大きく開いていることは通りを通るクルマの運転手などにも大きなアピールとなる。



どんなに忙しくとも、来店したお客さまの用件はすぐに聞く。簡単な作業ならその場で行なう



*技術力の高い店をアピールしたチラシ



お客さまの要望に応える商品を探す。商品知識も信頼獲得の要素



工場の天井は蒲池社長の手作り。破損したカウルや在庫部品などは、見えにくいところに保管する

社長自ら率先して資格を取得する スタッフは遅れをとらないよう頑張る「励みになります」

技術が伴って、はじめて お客さまへのアピールに



サービス、と言うからにはサービスのマンの技術が伴っていることも条件の一つだ。

「ウチの店は社長が率先して資格の取得をしていますがね。YTSでは社長自身、ドクタークラスの資格を持っていますよ。社長が熱心だから、私たちも遅れないように頑張らなければなりません。いい励みになりますよ」

職人肌の岸さんは、言葉を選びながらゆっくりと話す。

しかし、認証工場資格やスリースター店の資格は本当にお客さまへのアピールになるだろうか、あえて質問して

みた。

「お客さまの関心は、いかに安く買えるか」と、買った後のアフターサービス「のふたつです。本当に必要なのは目先の割引より末長いサービスということを訴えれば、ほとんどのお客さまは納得してくれますよ。その際のサービス技術の証として、認証工場資格などはいい説得材料なんです」と繁子さんは話す。

口先だけの売り文句か、技術というバックボーンがあつての言葉か。お客さまの嗅覚は意外に鋭いのではないだろうか。その嗅覚に訴えるための材料として、資格は大きな武器になる。

話を聞いていると女性2人のお客さまが来店した。年齢は20歳ほどだろうか、さかんにスクーターを見ては相談している。

「いらっしやい」彼女らとは同世代の女性スタッフ、西原さんがさりげなく声をかける。

「スクーター、欲しいんだけど……」

「それなら……」とさっそくカタログを手に説明を始める西原さん。ものの5分とたたないうちに、お客さまに溶け込んでしまった。

「スタッフは誰でも商談できるようにってというのが社長の方針でね。もちろ

んサービスの人間が商談カウンターに座ることもありますよ。彼女（西原さん）は普段は経理担当なんですけど、若い女性のお客さまは彼女の担当なんです。同性で同年代という話しやすいでしょう」と繁子さんは商談を気にしながらそう言う。

商談だけでなく、サービスマンは修理の受注から修理後の精算、修理内容の説明も必要だ。お客さまとの接点をもっとも要求されるのは、ほかでもないサービスマンだろう。

機械を扱ってはいれるものの、サービスマンが向き合っているのはお客さまのハートである。そのことを改めて認識させられた。



店長、サービスのチーフを務める岸さん。夕方にもなると、修理、接客でフル回転の忙しさとなる

Hello NICE SHOP



■YSP広島南

J R広島駅から車で15分程、市内を東西に走る国道2号線の上り車線沿いに立地。交通量は昼夜を問わず多いが、店舗が交差点の角地にあるため、上下線どちらからも来店しやすい。広島市内は全国でも有数の激戦区で、特にYSP広島南のある国道2号線沿いには、大型併売店が集中。このため同店では定休日を定めずに来店客を迎え入れるとともに、信頼できる技術力の店をモットーに、他店との差別化を図っている。

●オープン：昭和60年10月、昭和61年11月に現在の店舗に移転。今年3月にリニューアルオープンした●店舗規模100坪の敷地に約30坪のショールームと15坪のサービス工場をもつ建物、20坪のオープンスペースの他部品庫や店舗裏に四輪駐車場を備える

●展示台数：新車スポーツ20台ほど(ショールーム内には7台)、スクーターが店頭オープンスペースに27台、ショールーム内に1台●商圏：広島市内全域を中心に、東広島、岩国から山口までと広範囲●客層：20代の社会人が中心●クラブ：Y.E.S.S. イベントに(とくにエンデュロ)参加する集まりはあるが、クラブとして結成していない●営業時間：午前8時30分〜午後7時30分●定休日：なし(お盆、正月イベント参加時は閉店)



空間を上手に利用したショールームは、明るく、そして落ち着いた雰囲気



ユーザースペースは、観葉植物で仕切られている。サービス工場の様子もここから伺える



無駄を省き、必要なものを展示している用品コーナーは、とても見やすい



店頭はスクーターを並べ、賑やかさを演出

The Latest
A/D



ライダーとは、他人の話には乗らず、
自分の思い入れに乗る人種である。

TRADITIONAL V-TWIN
SRV250

MODEL TYPE: 40M ENGINE TYPE: AIR-COOLED OHC V-TWIN DISPLACEMENT: 250ml
MAX. POWER: 27kW (3.520rpm) MAX. TORQUE: 3.1kg-m (8,300rpm) TRANSMISSION: 5 SPEED RETURN GEAR WEIGHT: 146kg
BODY COLORING: IMPRESS MAROON, DARK PURPLISH BLUE METALLIC, DARK CYAN METALLIC ¥449,000

●SRV250の燃料タンクは、従来の40Mタイプから容量が10L増え、15Lになりました。●SRV250は、従来の40Mタイプから容量が10L増え、15Lになりました。●SRV250は、従来の40Mタイプから容量が10L増え、15Lになりました。

二輪車専門誌「MOTOR CYCLE」の「二輪車」欄に掲載されたSRV250の魅力を、このように表現しています。
「二輪車」欄に掲載されたSRV250の魅力を、このように表現しています。
「二輪車」欄に掲載されたSRV250の魅力を、このように表現しています。

V.E.S.S.

YAMAHA

SPORTS

SRV250

YAMAHA

SRV250

YAMAHA

SRV250

YAMAHA

- 気どらず、飾らず、普通の趣味として接することのできるモーターサイクルでありながら、いつまでも飽きのこないキラリとした魅力を持つSRV250。
- 二輪車専門誌広告の第2弾は、そんなSRV250に共感するライダーたちのマインドをキャッチコピーにしました。
- 理屈やスペックよりも、まず注目していただきたいのは全身から沸きでるSRV250ならではのフィーリングです。どうぞ店頭では、直接手に取ってお客さまにその魅力を感じていただいでください。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社